

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年11月10日

【四半期会計期間】 第89期第2四半期
(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 江口達夫

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03-3667-7811(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田弘

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03-3667-7811(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第88期 第2四半期 連結累計期間	第89期 第2四半期 連結累計期間	第88期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高 (千円)	9,847,982	9,782,116	19,177,731
経常利益 (千円)	1,024,321	825,992	1,614,778
四半期(当期)純利益 (千円)	683,445	477,035	1,006,737
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	562,432	543,089	890,681
純資産額 (千円)	12,007,346	12,639,325	12,425,922
総資産額 (千円)	18,494,861	19,043,223	17,844,191
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	25.83	17.83	37.87
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	64.9	66.4	69.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	248,038	408,852	249,223
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	157,300	303,524	537,880
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	426,691	462,868	563,296
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,417,766	1,536,775	1,895,170

回次	第88期 第2四半期 連結会計期間	第89期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	14.33	8.93

- (注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
- 4 第88期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間における、当社グループ（当社並びに当社の子会社及び関連会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社並びに当社の子会社及び関連会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により、輸出や設備投資が減速し、個人消費についても急激に悪化する動きとなりましたが、サプライチェーンの復旧や自粛ムードの緩和、公的部門における震災復旧の取り組みなどにより、徐々に持ち直しの動きが進んでまいりました。しかしながら、国際的な金融市場の不安定化、急速な円高の進行、中長期的な電力不足問題など、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループは、安心・安全な製品の安定供給を最重要課題として取り組むとともに、機能性食品素材「イヌリン」の拡販、新たな素材の研究開発に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,782百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益723百万円（同23.2%減）、経常利益825百万円（同19.4%減）となり、特別損失として投資有価証券評価損75百万円など総額88百万円を計上した結果、四半期純利益は477百万円（同30.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

精糖事業

精糖事業の業績は、売上高6,631百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益765百万円（同21.2%減）となりました。売上面では、夏場の電力供給問題からの前倒し需要があったものの、液糖を中心にその後の消費が伸び悩み、販売数量は前年同期比で減少いたしました。損益面では、販売数量の減少、原材料価格及びエネルギーコストの上昇などにより、前年同期比で減益となりました。

機能性素材事業

機能性素材事業の業績は、売上高2,844百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益43百万円（同9.8%増）となりました。売上面では、機能性食品部門において、イヌリンを主原料とした大手食品ユーザーの脂肪代替商品が前期後半より引き続き好調に推移した結果、前年同期比で大きく販売数量を伸ばしました。しかしながら、連結子会社ユニテックフーズ(株)のOEM関連事業が東日本大震災による販売減等により、前年同期比で減収となりました。損益面では、イヌリンの増収による収益改善や各部門においてコスト削減に努めた結果、前年同期比で増益となりました。

不動産事業

不動産事業の業績は、売上高306百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益265百万円（同2.4%減）となりました。本社ビルの一部が空室となったため、若干ながら前年同期比で減収減益となりましたが、安定収益の確保に貢献いたしました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6.7%増加し、19,043百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ19.5%増加し、8,626百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ2.0%減少し、10,417百万円となりました。これは主に投資その他の資産「その他」に含まれる繰延税金資産の減少等によるものであります。

負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ34.2%増加し、4,824百万円となりました。これは主に仕入債務の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ13.4%減少し、1,579百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.7%増加し、12,639百万円となりました。これは主に四半期純利益計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ358百万円減少し、1,536百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、408百万円となり、前年同期に比べ160百万円(64.8%)増加いたしました。これは主に仕入債務が増加したこと、法人税等の支払額が減少したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、303百万円となり、前年同期に比べ146百万円(93.0%)増加いたしました。これは主に投資有価証券の売却及び償還による収入が減少したこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、462百万円となり、前年同期に比べ36百万円(8.5%)増加いたしました。これは主に長期借入れによる収入が減少したこと等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、30百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動についての重要な変更はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社及び提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績に著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい異動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画についての著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年11月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は1,000株であり ます。
計	29,748,200	29,748,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年9月30日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
双日株式会社	東京都港区赤坂6-1-20	8,153	27.40
豊田通商株式会社	愛知県名古屋市東区中村区名駅4-9-8	2,459	8.26
鈴与株式会社	静岡県静岡市清水区入船町11-1	1,402	4.71
和田製糖株式会社	東京都中央区日本橋浜町2-4-3	1,226	4.12
野村信託銀行株式会社(信託口)	東京都千代田区大手町2-2-2	933	3.13
株式会社静岡銀行 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	静岡県静岡市葵区呉服町1-10 (東京都港区浜松町2-11-3)	792	2.66
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	558	1.87
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	新潟県新潟市中央区南万代町3-37	500	1.68
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1-2-1	447	1.50
双日食料株式会社	東京都港区赤坂2-14-32	419	1.41
計		16,891	56.78

(注) 上記のほか、当社は自己株式 3,006千株(10.10%)を所有しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,006,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,259,000	26,259	
単元未満株式	普通株式 483,200		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		26,259	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が 2,000株(議決権2個)含まれておりません。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋茅場町 1 - 4 - 9	3,006,000		3,006,000	10.10

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,576,119	1,517,715
受取手形及び売掛金	1,750,397	1,715,587
有価証券	322,050	322,060
商品及び製品	1,220,131	1,782,088
仕掛品	127,079	166,101
原材料及び貯蔵品	1,284,726	1,676,029
その他	940,434	1,448,145
貸倒引当金	5,368	1,558
流動資産合計	7,215,571	8,626,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	725,433	698,459
機械装置及び運搬具（純額）	143,657	163,646
土地	2,048,834	2,048,834
その他（純額）	51,257	66,265
有形固定資産合計	2,969,183	2,977,206
無形固定資産		
のれん	1,009,765	955,771
その他	60,147	74,637
無形固定資産合計	1,069,912	1,030,409
投資その他の資産		
投資有価証券	3,927,798	3,998,166
関係会社長期貸付金	1,804,900	1,937,100
その他	955,007	558,948
貸倒引当金	98,181	84,776
投資その他の資産合計	6,589,523	6,409,438
固定資産合計	10,628,619	10,417,053
資産合計	17,844,191	19,043,223

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	809,033	1,466,780
短期借入金	1,826,364	1,863,693
未払法人税等	220,507	218,543
賞与引当金	114,914	112,314
役員賞与引当金	13,820	6,140
その他	609,044	1,156,872
流動負債合計	3,593,683	4,824,343
固定負債		
長期借入金	731,075	560,564
退職給付引当金	441,001	397,194
役員退職慰労引当金	133,899	133,573
資産除去債務	53,693	53,965
持分法適用に伴う負債	16,313	-
その他	448,602	434,256
固定負債合計	1,824,585	1,579,554
負債合計	5,418,268	6,403,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,524,249	2,524,249
利益剰余金	8,926,603	9,082,408
自己株式	732,754	741,210
株主資本合計	12,242,558	12,389,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,948	251,873
繰延ヘッジ損益	3,583	2,455
その他の包括利益累計額合計	183,364	249,418
純資産合計	12,425,922	12,639,325
負債純資産合計	17,844,191	19,043,223

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	9,847,982	9,782,116
売上原価	7,311,818	7,491,752
売上総利益	2,536,163	2,290,364
販売費及び一般管理費	1,594,370	1,566,889
営業利益	941,793	723,475
営業外収益		
受取利息	24,612	24,947
受取配当金	25,857	24,185
持分法による投資利益	61,122	72,428
その他	11,912	10,480
営業外収益合計	123,504	132,043
営業外費用		
支払利息	24,443	18,169
匿名組合投資損失	14,858	6,970
その他	1,674	4,385
営業外費用合計	40,976	29,526
経常利益	1,024,321	825,992
特別利益		
投資有価証券売却益	1,530	-
特別利益合計	1,530	-
特別損失		
減損損失	3,527	9,125
投資有価証券評価損	-	75,295
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	35,908	-
その他	2,092	3,736
特別損失合計	41,528	88,158
税金等調整前四半期純利益	984,323	737,833
法人税、住民税及び事業税	285,699	225,104
法人税等調整額	15,178	35,693
法人税等合計	300,877	260,797
少数株主損益調整前四半期純利益	683,445	477,035
四半期純利益	683,445	477,035

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	683,445	477,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121,651	64,925
繰延ヘッジ損益	638	1,128
その他の包括利益合計	121,013	66,053
四半期包括利益	562,432	543,089
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	562,432	543,089
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	984,323	737,833
減価償却費	64,633	65,950
のれん償却額	53,994	53,994
減損損失	3,527	9,125
賞与引当金の増減額(は減少)	3,315	2,599
役員賞与引当金の増減額(は減少)	6,750	7,680
貸倒引当金の増減額(は減少)	18,053	17,214
退職給付引当金の増減額(は減少)	49,141	43,807
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	19,270	326
受取利息及び受取配当金	50,470	49,133
支払利息	24,443	18,169
持分法による投資損益(は益)	61,122	72,428
投資有価証券売却損益(は益)	1,530	-
投資有価証券評価損益(は益)	-	75,295
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	35,908	-
売上債権の増減額(は増加)	106,417	34,809
たな卸資産の増減額(は増加)	322,750	992,281
その他の流動資産の増減額(は増加)	23,487	2,697
仕入債務の増減額(は減少)	131,161	657,746
その他の流動負債の増減額(は減少)	39,331	100,280
その他	10,895	10,656
小計	654,222	575,694
利息及び配当金の受取額	77,130	76,480
利息の支払額	21,114	16,940
法人税等の支払額	462,200	226,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	248,038	408,852
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	79,671	86,005
有形固定資産の売却による収入	-	45
無形固定資産の取得による支出	-	21,650
投資有価証券の取得による支出	628	641
投資有価証券の売却及び償還による収入	96,435	-
長期貸付金の回収による収入	306,564	364,727
長期貸付けによる支出	480,000	560,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	157,300	303,524
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	20,000	70,000
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	240,682	203,182
自己株式の取得による支出	1,366	8,455
配当金の支払額	264,642	321,231
財務活動によるキャッシュ・フロー	426,691	462,868
現金及び現金同等物に係る換算差額	571	854
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	336,525	358,395
現金及び現金同等物の期首残高	2,754,291	1,895,170
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,417,766	1 1,536,775

【継続企業の前提に関する事項】

当第2四半期連結会計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
偶発債務 (債務保証) 次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。 太平洋製糖(株) 947,000千円 南栄糖業(株) 122,413千円 なお、上記南栄糖業(株)に対する債務保証のうち、16,313千円については、「持分法適用に伴う負債」に計上しております。	偶発債務 (債務保証) 次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。 太平洋製糖(株) 762,666千円 南栄糖業(株) 122,413千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は、 次のとおりであります。	1 販売費及び一般管理費の主要な費目と金額は、 次のとおりであります。
販売奨励金 223,661千円	販売奨励金 206,901千円
販売手数料 78,122千円	販売手数料 73,357千円
貸倒引当金繰入額 220千円	貸倒引当金繰入額 3,809千円
運賃 273,077千円	運賃 276,657千円
役員報酬 87,873千円	役員報酬 81,961千円
執行役員報酬 55,943千円	執行役員報酬 56,297千円
給料手当 254,832千円	給料手当 275,182千円
減価償却費 27,615千円	減価償却費 29,374千円
賞与引当金繰入額 85,360千円	賞与引当金繰入額 88,500千円
役員賞与引当金繰入額 6,930千円	役員賞与引当金繰入額 6,140千円
退職給付費用 18,280千円	退職給付費用 18,774千円
役員退職慰労引当金繰入額 14,330千円	役員退職慰労引当金繰入額 12,824千円
租税公課 18,493千円	租税公課 17,322千円
のれん償却額 53,994千円	のれん償却額 53,994千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金 2,098,724千円	現金及び預金 1,517,715千円
有価証券勘定 322,042千円	有価証券勘定 322,060千円
計 2,420,766千円	計 1,839,775千円
預入期間が3か月を超える定期預金 3,000千円	預入期間が3か月を超える定期預金 303,000千円
現金及び現金同等物 2,417,766千円	現金及び現金同等物 1,536,775千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年5月14日 取締役会	普通株式	264,642	10.00	平成22年3月31日	平成22年6月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月20日 取締役会	普通株式	321,231	12.00	平成23年3月31日	平成23年6月3日	利益剰余金

(注) 普通配当 10.00円 記念配当 2.00円

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成 22年 4月 1日 至 平成22年 9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,572,429	2,959,610	315,942	9,847,982		9,847,982
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,132	788	555	8,476	8,476	
計	6,579,562	2,960,398	316,497	9,856,458	8,476	9,847,982
セグメント利益	971,319	39,858	272,357	1,283,535	341,741	941,793

(注) 1 セグメント利益の調整額341,741千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,631,270	2,844,440	306,406	9,782,116		9,782,116
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,756	310	555	7,622	7,622	
計	6,638,026	2,844,750	306,961	9,789,738	7,622	9,782,116
セグメント利益	765,461	43,764	265,720	1,074,946	351,471	723,475

(注) 1 セグメント利益の調整額351,471千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	25.83円	17.83円
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	683,445	477,035
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	683,445	477,035
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,462	26,750

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月7日

フジ日本精糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 町田 恵美

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山澄 直史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。